



東京リハビリニュース

SELIP

発行 / 社会福祉法人 東京リハビリ協会

東京都立川市富士見町 7-33-3 TEL / 042-521-1234 FAX / 042-521-1203

E-mail / ma01@trg.jp ホームページ / http://www.trg.jp/

2022

3

No.181

季節の足音…



今号の主な記事

- | | |
|--------------------------|-----|
| 働く誰もが生き生きと輝ける施設であるために | 1 |
| シリーズ29 苦言 甘言 | 2~4 |
| 第70回東京都社会福祉大会受賞 | 5 |
| 全国ナイスハートバザール2021inとくしま視察 | 5 |
| 事業所だより | 6 |

創業60周年
に向けて

働く誰もが生き生きと輝ける施設であるために

理事長 緑川清美

世界が一変した新型コロナウイルスの発生で、我が国では瞬く間に一日十万人を超える感染者の発表がある等、圧倒的なスピードで世代を超えて感染が拡がった。現在では医師の診療もなく検査も受けられないまま「みなし陽性者」となり自宅療養を余儀無くされ、誰もが必要な医療を受ける事が出来ず、不安しかない。これまで当たり前だった事が通用しなくなつた今、何が正しいかを見極め、施設として誤った判断をする事がないように努めなければならない。

弊会でも利用者や、職員家族、関連のグループホームから連日、感染確認や濃厚接触者として通所や出勤が出来なくなる等、逼迫した毎日である。職員は毎朝、施設内を隈なく消毒する事から仕事をスタートしている。また、これまで以上に利用者一人ひとりに対し、健康観察を徹底している。私達は利用者の方々や働く人達を守るために、ワクチン接種や基本的な感染防止対策等、出

来る事から進める努力をする以外、乗り越える道は今のところ見当たらない。

さて、弊会は二年後の二〇二四年に創業六十周年を迎える。

開設以来、利用者の生活権を守るため『親亡き後の自立生活に欠かせない工賃水準の確保』を経営目標に掲げ、未来に向けて邁進している。人々から歓迎され、社会から歓迎される組織は、未来につながる。そのような組織であり続けるためには社会の変化を読み取り、今の時代に人々や社会が求めるものを創造しなければならない。そのためには、一人ひとりの職員に活躍の場があり、一人ひとりが任された仕事に對し、新たな価値を生み出していくことにある。それは実際に価値を創出しているのは、日々の仕事で組織を動かしている職員だからなのである。

リハビリで働く人々が、生き生きと、こころ良く働ける施設であり続けるための運営をしていきたい。



苦
言

甘
言

民間企業に対
する障害者
雇用率は2・
3%の義務
化である。

経営推進室担当理事 斎藤 公生
管理部総務課主任 中村 恵輔

B型施設支給工賃中間報告分析資料

厚労省発出 2020 年度

B型は誰の為に何の為に

毎年、この時期に行政から公表される

は一度も達成していない。

誕生して昨
年で45年間経
過しているが、
この間雇用率

約半数が離職者の受け皿に?
～B型が離職者の受け皿に?～

最近、離職者のB型施設への入所者が増加傾向にあるのでは。

何故なら、弊会が昨年実施した利用者実態調査の前歴調査では、B型利用者142名中、企業離職経験者数が64名、全体の約半数の45%を占めている。

日頃、情報交換をしている複数のB型施設関係者の話と弊会の調査結果を併せてみると離職の理由は大きく二つある。

就職数と離職数はほぼ同数?

工賃支給資料を見て考える事は、全利用

者の90%を占めている月額1万円前後の工賃で、B型本来の目的が達成され

ているのか。この状態がこれからも継続すると、利用者の高齢化に伴い彼らの将来にどのような影響を及ぼすのか、障害を持つた一人として自立生活が可能になる工賃支給のあり方に取り組む関係者の

最近、ハローワーク紹介の就職者が増加し、年間10万人を超える年もあるが、雇用率は一向に達成されないのは何故か。

日頃、交流している行政の障害者関連や特別支援学校関係者から聞こえてくるのは、例えばB型等の就労施設

に配置している支援職員体制システム等を導入しないうちに、雇用数だけに焦点を置き、支援の方は企業任せな為、多くの障害者は就労の場で、相談相手

も無く、日々取り残された結果、生活に馴染めず短期離職の原因になってしまっている。

B型の目的を整理する事が 重度者の自立生活活性化に

さて、現在、福祉予算で支えている重度者の就労型施設はB型（A型は雇用型）だけである。

今年の工賃資料を分析すると、障害基礎年金と合算しても、利用者の約90%以上が、自立生活困難な低額工賃対象者であり、平成17年度末に、授産制度が廃止になつて17年間、利用者数や就労型施設は約3倍前後に増加している。

いかに企業での就労が困難な障害者が増加しているかである。

その後、数回の改正を重ね現在、承知の事と思うが1976年（昭和51年）に身障者の法定雇用率が義務化された。（当時、知的・精神関連法は整備されていない）

44年間障害者法定雇用率が一度も達成しない大きな問題

今号では、低工賃額と並んで大きな問題になつてきている、障害者法定雇用率未達成の原因の一つである、企業からの短期離職者のB型への流入増加問題である。

就職者の増加には、マスコミを始め大々的に報道されている一方、多数の離職者に関する情報は何故か発出されてしまう、正確な背景は不明だが、折角の法定雇用率制度が活かされていないのは残念である。

就職者等、B型は出勤から退勤迄専門職が支援しているが、利益優先の企業に多くを求めるには限界を感じる。支援員も配置せず、障害者を犠牲にする乱暴な雇用路線を続けていると、今後、多くの犠牲者を生む恐れがある

平成16年頃、国会議員や行政関係者の中に、授産施設廃止を提案する人たちはいた。その過程で何度も、意見交換をした。同時に、厚労省の社会保障審議会障害部会に、行政側から授産施設廃止の資料が提出された経緯がある。

業で働く利用者が多く在籍していると、施設の視察に来た行政担当者が話し合いの席上で発言した。

彼らは、障害者の内面を見ず、外見の大きな体を見て判断していたようだが、現在、多くの障害者が短期離職してB型施設に入所してくる実態をどうに考えてているのか。

彼らは、障害者の内面を見ず、外見の大きな体を見て判断していたようだが、現在、多くの障害者が短期離職してB型施設に入所してくる実態をどうに考えてているのか。

憲法二七条に関連し、制度化された 身体障害者収容授産施設を振り返り

～今に続く半世紀以上前の話～

今から64年前の1958年（昭和33年）に当時の厚生省が、ご苦労を重ね制度化させた身体障害者収容授産施設誕生秘話の一部を遡つてみた

制度誕生迄の準備期間を入れると、約70年弱前の話である。

残念ながら、当時制度化に努力を重ねた多くの皆さんには鬼籍に入つてゐる。

この新制度誕生で、授産一号として厚生協会（元セルプ協副会长田中理事長・北海道）ライトハウス（元セルプ協会長近藤理事長・愛知県）のお父さんが開設。現在も高工賃を支給している。

なぜ私がその一部を知つてゐるか

と言えば、この身障授産施設が制度化されたのが、私が二〇歳の時、翌年開設された施設に利用者として入所した。法人の理事長は高圧線の作業中電線に接触し両腕を失う。積極的な方で、厚生省と直接交渉する為、青函連絡船を乗り継ぎ北海道から上京。厚生省では隣でメモを取る事も仕事だつた。

当時は、パソコンも無く資料は全て手書き、理事長が口にペンを銜えて成した資料を簡易印刷機にかける

為、書き替えを行い、完成した分厚い資料を理事長多忙で施設を離れない時は、厚生省担当者に理事長が電話で要点を説明し、行政側に持参し説明する役割も時々。

行政の担当者に会う事が増える度に、障害福祉の動向等を親切に教示戴いた。中には重要事項もあつた。その一つが企業で働く事が困難な障害者に対する、働く場の制度作りである。

その中で鮮明に記憶に残つてゐる一つを紹介したい。

すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負う

日本国憲法二七条に定められてゐる条文である。

障害者授産施設の誕生時の行政各位の苦心と障害者中心の方針

行政各位の苦心と障害者中心の方針

1958年（昭和33年）当時の厚生省は、長く続いた戦争で我国の主な都市は焼け野原となり、住居も職も家族すら失つた人が多く、勿論、障害者も例外では無く、國民は生きる事に日々戦つていた事を終戦時小学校一年生、多くの事を鮮明に覚えてゐる。

若い行政マンの言葉は「我々健常者は選択されしなければ、このような時代でも働く処は幾らでもある。しかし、重度の障害を持つた方々は、健常者がその気になつて支援しなければ生活を支える為の収入を得る事は困難である。その人達の制度を作るのが自分達であり、実践は貴方達である。」

当時、厚生省更生課に在籍し、障害者の福祉的就労作りを担当していき方の言葉である。更に言われた事は、「障害者を利用したり、犠牲にする事

は、我が国で初のケースであり、法律や制度作り、更には予算確保の為にこれから障害者就労施設の方向性を一緒に求めていこう。」

当時の理事長と、付き添いの私にこのような言葉をかけてくれた。

私はその後、東京生活となるが、30歳前の彼やその仲間とは、役所を先に記述した両腕を失つた理事長の付き添いとして厚生省に出入りする事になった。

その中で、生涯忘れられない事の一つであるが、厚生省更生課の担当者が、行政と民間の立場を超えて教えた言葉を鮮明に覚えている。

その言葉は、後に授産施設を経営する立場になつて、弊会の経営方針にも掲げている。

制度を作るのは、我々行政の役割

制度を作り、障害者に還元するの

は貴方達の役割

人達の思いとかけ離れ、B型が「何

のために、誰のために」制度化され、貴重な国家予算を投入してきたの

かが解らなくなつてきている。

平成17年、彼らが制度化に努力した授産施設も、理由が判らないままに廃止になり、似たような目的を持つたB型が誕生して既に18年経過。

しかし、実態は制度を誕生させた

人達の思いとかけ離れ、B型が「何のために、誰のために」制度化され、貴重な国家予算を投入してきたのかが解らなくなつてきている。

2020年度全国B型工賃公表は県の約20%が未提出の為、利用者の多い東京都の資料に代えて分析公表（尚2月現在未提出県については年度末までに提出され、無い次第資料作成を続行予定）

■東京都の分析資料

平均工賃 15,776円

今回の工賃では障害基礎年金を合算しても自立生活は困難か

○平均月額工賃 15,776円

○障害基礎年金一級 65,075円
○一ヶ月収入額合計 80,851円

障害基礎年金と合算しても、東京都の平均工賃で自立生活を営むのは相当苦勞

B型利用者の人権に関する問題 脱「低工賃・低自立生活移行率」

2020年度東京都の工賃を分析していく思い出した事がある。平成16年にB型の前身、障害者授産施設が逼迫している国家財政改善等を理由に、制度廃止に追い込まれた事があった。

行政側との問答の中で、「なぜ授産施設を廃止するのか」当時の担当者の答えは、貴重な国家財政を投じているが「授産施設の目的が蔑ろにされ」多方面の国民から廃止の意見が強く出されている。具体的には、一、支給している工賃が低い

一、所得が低く自立生活移行が停滞したままで、施設の利用期間が長期化。授産が廃止になつても、職員の少ないデイサービス等で対応出来る。

あれから17年が経過したが、現在のB型が授産施設廃止時と全く同じ状況なので、大いに気になるところである。

東京都B型870施設の 3・3%の29施設が 4万円以上の工賃支給

全体の3%台と少ないが
自立生活を支える工賃を
支給している施設が存在

何故高工賃を生む事が 出来るのか

- ・障害基礎年金二級月額約65千円
- ・障害基礎年金一級月額約81千円
- ・工賃月額 4万円

基礎年金二級受給者の場合、月額工賃額を4万円支給すると、月額収入が10万円となり、GH利用者の場合、地域差はあるが若干の預貯金が出来る複数の事例を参考にしている。

弊会の経営するB型3施設には、135名の利用者が在籍しており年間支給工賃は約1億1千万円。

- ①徹底したB型の目的確認
- ②全てオープンの経営数値

高工賃支給、自立生活への移行率を高め、親亡き後の安定生活環境の確立を経営目標に。

月1回、15名程の幹部職員参加の

経営会議に、経営数値、資金繰り

自立生活、 何故4万円以上か?

教示致します。

本件につきましてご一報頂ければ
リースやレンタルで利益を確保
出来る科目の開発。

④障害をカバーする機器自主開発
市販の機器を障害者用に設計変更で、生産数を低下させないで利用者が生産に参加。

3万円台 34施設 3.9%
2万円台 110施設 12.6%

	1万円以下	3万円台	2万円台	3万円台	2万円台	1万円台
■自立生活可能工賃	335施設	362施設	416%	34施設	1施設	4施設
計	841施設	3施設	0.1%	0.3%	0.1%	4.16%
9万円台	1施設	0	0	0	0	0
7万円台	3施設	0	0	0	0	0
6万円台	4施設	0	0	0	0	0
5万円台	3施設	0	0	0	0	0
4万円台	18施設	2.1%	3%	3%	3%	3%
3万円台	29施設	0.3%	1%	1%	1%	1%

料、支援資料、生産資料、営業資料等約30ページを提示して検討。品目は競争相手の少ない科目を開発し利益率を高める。

利益を生む営業の徹底

営業職専門職員が10名前後。営業

2020年(令和2年)度 東京都 平均工賃 就労継続支援B型(月額)

※東京都福祉保健局 平均工賃等一覧(令和2年度)のデータより

事業所名	区市町村	令和2年度		
		定員	工賃支払総額	工賃平均額
1 チャレンジャー	武藏野市	30人	33,513,050円	94,670円
2 日の出リハビリ	西多摩郡日の出町	40人	35,559,320円	79,197円
3 ぽぶら八王子	八王子市	10人	7,333,990円	77,200円
4 東京ワークショップ	新宿区	30人	32,020,213円	77,157円
5 ワークステーション立川	立川市	50人	48,477,570円	69,254円
6 第2リサイクル洗びんセンター	昭島市	10人	7,182,493円	65,295円
7 第1リサイクル洗びんセンター	昭島市	60人	39,396,966円	65,227円
8 ワークスタディ日の出	西多摩郡日の出町	35人	26,148,154円	63,621円
9 麺屋時風	足立区	20人	12,052,308円	57,667円
10 杉の子丸山	中野区	15人	7,941,642円	55,927円

工賃は生活給、簡単に下げるものではない

以上、残念ながら11府県から資料が未提出の為作成が先になり、今回も地元東京都の資料を参考にした。コロナの為に工賃が下落したところもあるようだが、弊会では工賃は生活給と位置づけており、今年度も平均3%アップしている。

利用者を含め、在籍者約200名

経営会議に、経営数値、資金繰り

たい。

コロナも新型が出たりして長引きそうだが、職員各位残りの一ヶ月を重要な月と捉え取り組んで頂きたい。

第70回東京都社会福祉大会 受賞おめでとうございます



原田友章係長

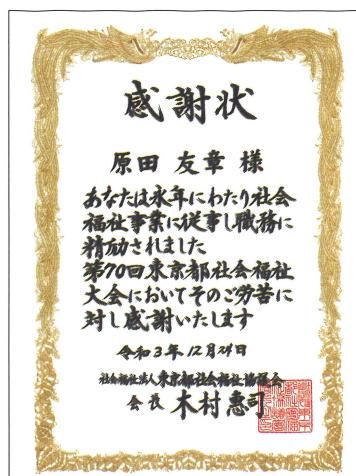


住井信裕科長

（管理部総務課主任
中村恵輔）

所の原田友章係長が「東京都社会福祉大会知事感謝状」を、立川事業所の原田友章係長が「東京都社会福祉協議会会长感謝状」をそれぞれ受賞した。長年、社会福祉に従事してきた功績が評価され、団体としても「東京都社会福祉大会知事感謝状」を受賞した。

信裕科長が「東京都社会福祉大会知事感謝状」を、立川事業所の原田友章係長が「東京都社会福祉協議会会长感謝状」をそれぞれ受賞した。長年、社会福祉に従事してきた功績が評価され、団体としても「東京都社会福祉大会知事感謝状」を受賞した。



来客であふれる全国ナイスハートバザールinとくしま会場



主催者のとくしま障害者就労支援協議会 濱田理事長と、社会就労センターかもな 三橋園長・常務理事

（就労事業部
魚貝部門科長
住井信裕）

念だつたのは、全国セルプ協の主催にもかかわらず幹部の訪問が非常に少なかつたことである。

ただ大変残念だつたのは、全国セルプ協の主催にもかかわらず幹部の訪問が非常に少なかつたことである。

令和4年2月19日（土）23日（水）徳島県で行われた全国ナイスハートバザールの視察に行つてきました。今後の商品開発の参考とするため会場を見て回った。大きなショッピングモール（グラン北島）の中央のコンコースを2列も使用し、思つていたよりも非常に大きな会場であった。徳島県、全国の就労継続支援B型事業所等120施設を超える出店がありワゴン90台に2万点以上の商品が所狭しと並び、工夫を凝らした展示で大変活気のある売り場となつていた。同時に反対側のコンコースで利用者の作った作品が展示されていたりハートの折り紙やアート、オンラインワークショップの展示と盛りだくさんであった。視察は平日だったが多く買い物客でにぎわい、開会式には徳島県知事の来訪や毎日のよう警察樂団の演奏もあり、来場者数は15,000人、総額500万円、一日100万円以上の売上となつたそうだ。人口72万人の都市での集客力に驚きを隠せなかつた。

とくしま障がい者就労支援協議会の事務局が各法人の自慢の商品をより多く販売し、工賃向上に役立てようと奮闘されていたのが大変印象的あつた。この度案内をしていただいた、社会就労センターかもなの三橋園長様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。

全国ナイスハートバザール2021 in とくしま視察

ボツチャ大会開催



大きな歓声はないものの、マスク越しに小さな声で「頑張れ！」や「上手！」などの応援や拍手がたくさん聞こえた。ビシっと決まったナイスボールや、決めポーズのようなかっこいい投球をするもボールは遠くに…なんてこともあり、とても盛り上がりを見せた。個人戦では、金銀

クリスマス会食



個人戦でメダルをゲット！！

を放ちながら真剣な姿で投球して
いた。

1センチや2センチの違いが勝敗を決めるような接戦も多くあり
負けて悔しい思いをした方もいました
が、とても素晴らしい大会となつた
(福祉支援課主任 大沼琴美)

● ● ● ● ● ● ● ●

クリスマス会食

2021年最後のお楽しみとして『クリスマス会食』を実施しました。充分な換気と消毒を行い、会

A red rectangular gift box with a white star pattern sits on a white surface. A green wreath is attached to its left side. The box is surrounded by several wrapped gifts in various colorful papers.

台車がサンタさんのソリに大変身!?



豪華なプレゼントには何が入っているのかな??



関根サンタ登場！



用者も大喜びだつた。

タクロースとトナカイに扮した職員が登場し、クリスマスプレゼントを渡して回った。プレゼントは大きいクリスマスブーツの中に目一杯のお菓子とクリスマス柄のマグカップで、あまりの大きさに利用者も大喜びだった。

HAPPY BIRTHDAY

2月 3月

立川事業所

岩田 友宏さん
小川 寛道さん
小川美智子さん
熊谷 健二さん
塙田 徹さん
新谷 龍史さん
永倉きよみさん
立田智恵子さん
田中 利明さん
林 晴雅さん
古谷優有翔さん
山下 尚之さん
山本もむかさん

立川事業所

蓮さん
央さん
修さん
剛さん
史司さん
隆さん
典宏さん
愛子さん
輔さん
惠さん
岳さん
行さん
知秋さん
紀丹さん

日の出事業所

及川 厳さん
伊藤 政夫さん
小野 記央さん
小原登美子さん
蓋盛 雅子さん
貝塚 卓さん
川上 朋樹さん
木場田まゆみさん
木村 昭夫さん
齋藤 勇気さん
櫻澤 美佳さん
清水 裕子さん
高石 龍星さん
畠山 徹也さん
原マイリンさん
大石 信子さん
岡崎真知子さん
大槻 由起さん
大友 幸一さん
小田 一晃さん
木曾 昌宏さん
小峰 和博さん
敷根恵美子さん
東海林 淳さん
瀬川 京子さん
高橋 章さん
中村由美子さん
橋本 翼さん
水堀はるみさん
横山 丹紀さん